

第4回 仙台広域圏 ESD・RCE 拡大学びあい会議の報告

日時 2007年10月20日(土)
13:30~16:30
場所 七ヶ宿町水と歴史の館
参加者 約45名

第1部は、「仙台広域圏の活動と課題」ということで、仙台広域圏 ESD・RCE 推進委員会委員長の小金沢先生を座長に、学びあい会議の趣旨説明が行われ、その後

- * 「仙台地域」(仙台市環境局環境都市推進課環境活動推進係長:FEEL Sendai 事務局の山口さん)
- * 「田尻地区」(大崎市田尻総合支所・産業建設課長:西澤さん)
- * 「気仙沼地区」(気仙沼市教育委員会学校教育課課長補佐兼指導係長・指導主事の及川さん)

から、それぞれの地域で現在行っている事例の報告がありました。

「仙台地域」では、「杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)」で行っている“杜々かんきょうレスキュー隊”や“環境フォーラムせんだい”、“環境社会実験”などについて、細かな説明がありました。そして「杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)」が目指しているものが、行政・市民・地域・学校・NPOなどが環境教育を通してネットワークを構築していき、お互いに連携していこうというものでした。

「田尻地域」では、ラムサール条約の際にも農業の大切さと田んぼの役割を明記しての登録であったことや、稲作が低迷していることへ懸念を示し、新たな農法として「ふゆ水たんぼ」を利用し、その結果無農薬での稲作をすることで逆に米へ付加価値をつけたこと。さらに地域では学校給食が月2回のパン食以外は米食であることなど、地域をあげて農地を守り、それが経済発展へ繋がっているという事例が話されました。また国内でのエコ・ツーリズム推進モデル地区(国内のモデル地区は13ヶ所)になるなど、まだまだあらゆる方向性が今後見込まれていることなども報告がありました。

「気仙沼地域」では、“小学校・中学校・高校”までの連携した環境教育の具体例として面瀬小学校 面瀬中学校 気仙沼高校がそれぞれ連携し、米国の学校との交流しながら長期にわたってグローバルな視野での環境学習の実践を行っている事例報告をあげ、それらは学校単独では単に「点」にしかならないものを小学校・中学校・高校と連携することにより1本の線となり、やがて面となっていくことなどが報告されました。

気仙沼地域ではすでに「気仙沼RCE推進委員会」なるものがあり、専門機関だけではなく、企業や行政、NPO、学校などとの連携が図られていることも報告がありました。

第2部では、パネルディスカッションが行われ、ここでも仙台広域圏 ESD・RCE 推進委員会委員長の小金沢先生を座長に

- 「七ヶ宿地区」より
- * 水守人の会 代表の佐藤さん
- * 蕎麦屋 芭蕉庵 山田さん
- 「白石地区」より
- * (社)白石青年会議所 大槻さん

から、それぞれが今行っていることの発表があり、七ヶ宿・白石地域で持続可能な地域にしていくためにはどういうことができるか？ということでそれぞれが意見を述べました。

「水守人の会：佐藤さん」

炭焼きを通して、先人の知恵（炭に適した木々は生長が早いので、山々を壊すことなく炭焼きができること）と、炭の効用を説明しながら、山々が健康であれば私たちは美味しい水を飲むことができるので、水源に住む人間として水をきれいに、そして守っていないかなければならないとお話されました。

「そば屋芭蕉庵：山田さん」

町の高齢化と共に、農地の放置などもあり、このままでは七ヶ宿の農業は駄目になると一念発起し、そば屋さんを始めた経緯を話されました。

これまで高齢のために農作業が難しく人に頼んで費用を払って農地を守っていた人へ、逆に農地を借りることで地代を払うことができ、そして農地を守ることができ、また自分の農地及びお店で地域の人を雇用することによって少しは循環になっているのではないかと説明されました。

「白石青年会議所：大槻さん」

今の子どもたちはテレビゲームなどの画面の世界で物事に出会う機会が多く、リアルに体験したり、身をもって学ぶ機会が失われていることをとりあげました。新しいものと、古いものの双方を体験させることにより、今という地代が恵まれていることや昔の良き智恵などを理解することで、これからの生活（地域社会のこと・環境のこと）を考えられるような場をつくっていきたくと話されました。

会場内からは「ESDにおける指針や理念、目的は？」という質問も出ましたが、座長の小金澤先生が、まだまだ模索段階であることや、結論を出すものではないということをお話されました。また、この会議では「この地域ではこうした方がいい」とか、そういう押しつけをするものではなく、様々なことを考えることに意味があるということ締めくくられました。

なお、参加した方々からは

- * ESDについて漠然としか分からなかったけれど、少し頭の中がすっきりしたような気がします。何か自分でできることを考えてみようと思います。
- * いつも持続可能な社会にするために“何かしなくてはいけない”と思いつつも行動を起こすことができずにいました。でも、今日は仲間とこの会議に参加したので、何か一緒に考えて行動に移せれば・・・と思っています。
- * ESDについてはあまり知らなかったのですが、すごく奥が深いものだと思います。

以上

報告作成者：第4回 仙台広域圏 ESD・RCE 拡大学びあい会議
実行委員会代表：柴谷 亜美

